

法とは何か

2023. 2. 21

飯坂温泉のとある温泉施設に「キングダム」全巻がそろっており、読破した。そのときからだいぶ時間が経過した。相変わらず話がなかなか進まない。テレビのアニメもお休み中である。だんだんと忘れてきている。

そこで、復習期間に入ることにした。ちょうどいいタイミングで相馬の温泉施設にも全巻そろっていることを知った。飯坂と相馬で復習するかと思っていたところ、山形県にできた温泉施設にも全巻そろっていることがわかった。というわけで、山形で復習することにした。

ある巻を読んでいると、次の場面が目飛び込んできた。

李斯 「そもそも“法”とは何だ?」「言ってみろ昌文君」

昌文君 「法とは」「刑罰をもって」「人を律し治めるものだ・・・」

李斯 「馬鹿な!」「刑罰とは手段であって法の正体ではない!」

昌文君 「で では・・・」「法とは何なのだ」「李斯」

李斯 「“法”とは願い!」「国家がその国民に望む人間の在り方の理想を形にしたものだ!」

「統一後」「この全中華の人間にどうあって欲しいのか」「どう生きて欲しいのか」

「どこに向かって欲しいのか」「それをしっかりと思い描け!」

「それが出来ればそこから自ずと法の形が見えてくる」

「無論その先が大変なのだがまずはそこからだ」

「気概をもってやれ」「愚かな法は国民に不幸を撒き散らす・・・」

まるで李斯が自分に言っているように思えた。ちょうど自分が勤務する中学校のいわゆる校則について考えているところだった。これから全国の学校で校則の見直しが進むはずである。手始めに「中学生らしい」という表現を削除した。ある一定の年齢以上の先生方の中には、中学生らしいという基準があるかもしれない。だが、もはや価値観が多様化している今の時代にはそぐわない。

ソックスは白色だけだったが、白色、紺色、黒色とした。給食の白衣は、個人持ちのエプロンにした。黒タイツに加えてスパッツも認めた。今後も、どんどん学校のきまりは変わっていくことだろう。

学校のきまり、校則は願いだとして、問題は誰の願いなのかということだろう。今までは、学校に勤務する先生方の願いという側面が強かったことと思う。これからは、先生方の願いであり、生徒の願いであり、保護者の願いであり、地域の願いであることが望まれるのかもしれない。まずは、生徒の願いが大切である。「キングダム」を復習していたら、思いがけない展開となった。